

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(50)

～市民のチカラ～

食を通して人を育む食堂づくりを目指して ～ みんなの食堂ネットワークの取り組み～

◆ 子ども食堂・地域食堂って？

「子ども食堂」と聞いてどんな場を思い浮かべますか？「大人は行っ
てはいけない場所」「生活に困窮している家庭の子どものために食事
を提供している場所」というイメージが浮かんだ方もいるかもしれま
せん。厚生労働省によると、子ども食堂は「子どもが一人でも行く
ことのできる無料または低額の食堂」とされています。近年、ライ
フスタイルの変化により食生活が多様化しています。子ども食堂は、
子どもへの食事提供から孤食の解消や食育、さらには地域交流の場
などの役割を果たしています。

◆ 「みんなの食堂ネットワーク」発足！

現在、三木市内でも子ども食堂や地域食堂がいくつ
も誕生しています。食堂の増加を受けて令和5年5
月、寺子屋「おおきなき」の呼びかけのもと、三木市
内で食堂を運営する団体が集い、交流会を開催しまし
た。交流会をきっかけに団体同士の横のつながりが生
まれ、活動する上でそれぞれが抱えていた悩みを気軽
に共有できる関係が築かれました。

交流会はより良い
食堂運営を目指すた
め、行政担当者や食
材提供等の関係機
関の方々も交えて、
3ヶ月に1度継続し
て実施してきました。
そしてこの度、
1つの団体として共通課題の解決に向けて取り組むた
めに「みんなの食堂ネットワーク」という組織へと発
展し、つながりをより一層強めています。

「みんなの食堂」には「子どもも大人も気軽に利用
できて、地域の人たちと交流できる食堂」という意味
を込めました。みんなの食堂ネットワークは地域住民



や関係機関と連携しながら、食を通して人を育む食堂
づくりを目指して協議を進めています。

◆ 「みんなの食堂ネットワーク」の取り組み

現在行われている協議内容は主に2つあります。

1つ目は寄付の需給調整について。食堂の運営は
地域の「食堂を応援したい」という気持ちに支えら
れています。多くの市民の方から届く寄付を、どの
ような仕組みで分配すれば団体により早く、効率的
に渡すことが可能になるのか。寄付の窓口となる関
係機関の方々とともに協議を重ねています。

2つ目は、子ども食堂・地域食堂一覧づくり。市
内に食堂が増えていても、まだまだ認知度が低く、
参加のハードルも下げることができていないのが現
状です。情報を必要としている人に、三木市内のい
つ・どこで食堂が開催されているのかが一目でわか
ると同時に、地域全体で食堂を支えているというこ
とが可視化されたパンフレットを作成しています。
パンフレットを受け取った方に必要な情報を届けら
れるように、デザインや文章表現など細部までこだ
わって何度も協議を重ねています。完成した際には
改めて報告します。

三木市内に新しい食堂が2つ誕生しました！

こども食堂 in 前田精版印刷所



◀詳細・予約
はこちらから

開催場所：(株) 前田精版印刷所
三木市大村 1074-272
開催日時：第3土曜日
12:30～16:00

ココが魅力！！

●個別相談コーナー！
高校生以下を対象に同時開催中。
元教員の経験をもつ副社長がい
るからこそ実現した取り組みです。
気軽になんでも相談OK！



子ども食堂 よりみち



◀詳細・予約
はこちらから

開催場所：銭屋酒坊 よりみち
三木市福井1丁目4-41
開催日時：毎週火曜日
16:00～18:00

ココが魅力！！

●お母さんがリラックスできる環境
食事中は活動者が赤ちゃんを
抱っこしている様子が印象的。
上の子とのコミュニケーション
の機会にもなっていました。



現在、三木市社会福祉協議会が把握している食堂は10か所です。

助成金情報

助成金等名称 〔申請等期日・期間〕	助成内容	問合せ・申込先
(公財) コープともし びボランティア 振興財団 2025年度ボラン ティア活動助成	市民がお互いに支え合い、安心して暮らせること を願い、地域に根ざした活動をしているボランティ ア団体(個人)を応援する助成を行っています。 〔助成額〕 ■ともしび助成 団体：30万円/個人：3万円 ■きらり助成 1.5万円 〔助成対象〕 ・法人格を持たない団体または個人 ・2025年4月1日時点で1年以上の活動実績が あること 〔申請条件〕 2025年度ボランティア活動助成申請にあたっての 説明会を県内11カ所で行います。説明会参加の 申込は不要ですが、申請を希望される団体(個人) は、説明会へ必ずご参加ください。 開催日時と会場は、ホームページをご覧ください。	(公財) コープともし びボランティア振興財 団 ☎ 078-412-3930 ✉ tomosibi@kobe. coop.or.jp ホームページはこちら ▼  https://www. tomoshibi-found. or.jp/prospective/ activity-general/ activity

わたしたちの暮らしを支える
まちの資源をご存じですか？

だれかのため・いつかの自分のために
知ってほしい身の回りの資源を
紹介します！

＼地域のつながりが生まれる場／ ふれあいサロン

ふれあいサロンは、さまざまな要因で閉じこもりがちな「高齢者」
や「障がいのある人」「子育て中の方」などの閉じこもりを防ぎ、住民
同士のつながりづくりを目的とした身近な地域の居場所のことです。
地域住民が主体的に運営しています。



1. 顔の見える関係づくりができる
2. 社会参加や役割づくりができる
3. 健康維持や介護予防につながる
4. 楽しみや生きがい生まれる
5. 暮らしに役立つ情報が得られる
6. 悩みや困りごとの早期発見ができる

ふれあいサロンは、ご近所同士の顔の見える関係づくりを進め、だ
れもが住み慣れた地域で自分らしく、いきいきと過ごすことができる
地域づくりに向けた取り組みです。

「自分の地域のふれあいサロンについて知りたい」
「新たにふれあいサロンをつくりたい」などありま
したら、気軽にご相談下さい。
市内のふれあいサロン運営グループの情報はこちら▶



お問い合わせは
ボランティア活動プラザみき
☎ 83-0090 まで

